

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,337	△4.9	402	664.0	380	—	299	—
21年3月期第2四半期	4,562	—	52	—	31	—	△123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	53.50	—
21年3月期第2四半期	△22.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	7,356	—	2,628	—	35.6	467.93
21年3月期	7,057	—	2,398	—	34.0	429.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,616百万円 21年3月期 2,398百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	0.6	470	233.4	420	325.6	325	—	58.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 株式会社ピエトロズパスタ) 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 5,591,630株 21年3月期 5,591,630株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 300株 21年3月期 300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 5,591,330株 21年3月期第2四半期 5,591,330株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)附則第7条第1項第1号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月～平成21年9月）におけるわが国経済は、在庫調整の進展や生産の復調により景気が回復傾向にあるものの、雇用・所得環境の悪化によって個人消費が低迷するなど厳しい状況で推移いたしました。食品業界及び外食業界におきましても、消費者の節約志向・低価格志向が強まり、企業間競争が一層激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、さらなるブランド価値向上を図るため、「おいしさ」と「健康」にこだわった付加価値の高い商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食品事業部門が前年同期を上回るなど好調に推移した一方で、レストラン事業部門における店舗再編等の影響があり、43億37百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

利益面では、食品事業部門の売上増による収益改善、広告宣伝費をはじめとした販管費の削減、さらに原材料コストの改善を図ったことなどから、営業利益は4億2百万円（前年同期比3億49百万円の増益）、経常利益は3億80百万円（前年同期比3億49百万円の増益）、四半期純利益は、2億99百万円（前年同期は1億23百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりであります。

①食品事業

食品事業においては、ブランド重視の販売戦略を継続するとともに、健康志向の高品質商品の開発に取り組んでまいりました。

ピエトロ商品の美味しさを訴求した地域密着型小売店への営業を強化したことにより、主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン）やパスタ関連商品（スパドレ、パスタソース）を中心に好調に推移しました。

通信販売においては、プレミアム商品（ピエトロファーマーズシリーズ）の新商品や期間・数量限定の企画商品など品揃えを充実させたことにより、新規のお客様が順調に増加し、前年同期の売上を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は24億33百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は8億37百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

<平成21年度 新商品>

	商品名
平成21年9月	ピエトロドレッシング たまねぎと塩

<平成21年度 通信販売限定新商品>

	商品名
平成21年4月	贅沢トマトの冷たいソース
平成21年5月	コンポート〈あまおう〉
平成21年6月	村田厨房直送便「初夏便り」
平成21年8月	鯛と香味野菜のペペロンチーノ風絶望スパゲティ 村田厨房直送便「夏便り」
平成21年9月	蟹と蟹みその本格トマトソース（リニューアル）

②レストラン事業

レストラン事業においては、消費者の節約志向による「内食」への回帰など、外食を控える傾向が依然として続いており、厳しい環境で推移いたしました。しかしながら、当社グループは、多彩なメニューの展開と既存店活性化策の実施などにより、集客力と収益性の向上を図ってまいりました。

地域性やお客様のニーズにあわせて実施したサービスは次のとおりであります。

- (1) モーニングの実施など営業時間やメニューの見直し
- (2) ペット同伴が可能なテラス席の設置
- (3) 持ち帰りショップ（ピエトロデリ）の設置など物販強化
- (4) 愛犬と一緒に食事ができるドッグカフェの新設

また、レストラン事業の再構築の一環として進めてまいりました店舗の閉鎖につきましては、本年8月までに完了しております。

以上の結果、売上高は18億20百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は20百万円（前年同期は82百万円の営業損失）となりました。

<平成21年度 レストランフェアメニュー>

	商品名
平成21年4月	春野菜パスタフェア
平成21年5月	コドモシェフメニュー（実施店限定）
平成21年6月～8月	冷製パスタフェア
平成21年9月	カルボナーラフェア

<店舗数の増減>

	前期末	増加	減少	子会社化調整	当第2四半期末
直営店	35 (1)	2 (－)	12 (－)	+10	35 (1)
F C店	48 (1)	－ (－)	3 (－)	△10	35 (1)
合計	83 (2)	2 (－)	15 (－)	－	70 (2)

- (注) 1. ()内は、海外の店舗数で内書であります。
 2. 前期末（平成21年3月末）にF C店に計上していた店舗のうち10店舗について、その運営会社を子会社化したことにより、当第2四半期末は直営店に計上しております。

③その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、売上高は82百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は39百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループは、株式会社ピエトロズパスタの株式の取得に伴い新たに同社を連結子会社にしており、第1四半期連結会計期間末をみなし取得日として連結対象の範囲に含めております。これにより、当第2四半期連結会計期間末において、四半期連結貸借対照表の資産及び負債に影響を与えております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加し、73億56百万円となりました。これは、現金及び預金が1億96百万円、建物及び構築物（純額）が1億22百万円それぞれ増加する一方、売掛金が54百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ69百万円増加し47億28百万円となりました。これは、短期借入金が2億円増加する一方、長期借入金が1億46百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し26億28百万円となりました。これは、前期決算の剰余金の配当89百万円及び四半期純利益2億99百万円の計上等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷などにより、厳しい状況が続くものと思われまます。

このような環境のなか、当社グループは、引き続きブランド戦略を継続するとともに商品・サービスの質の向上を図ってまいります。

また、平成22年12月に創業30周年を迎えることから、お客様への感謝の気持ちを込めて、本年9月から平成23年3月までの長期間にわたる「ピエトロ創業30周年キャンペーン」を展開しております。このキャンペーンは、通信販売を含む食品事業とレストラン事業が共同で実施するものであり、本キャンペーンをとおして商品・サービスの訴求力を高めてまいります。

さらに、食品事業とレストラン事業をあわせ持つ当社グループの強みを十分に発揮し、企業価値の向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、景気の先行きや原材料価格の動向にまだ予断を許さない状況が続くと予想されることから、平成21年7月24日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、第1四半期連結会計期間において株式会社ピエトロズパスタの株式を取得したことにより同社を連結子会社としました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法等について、一部簡便的な会計処理を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合及び事業分離等から適用することができることになったことに伴い、これらの会計基準等を早期適用しております。

②「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることとなったことに伴い、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間から、新たに「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,033	757,444
預け金	73,094	70,320
売掛金	802,526	856,730
製品	49,238	49,216
仕掛品	2,048	1,791
原材料及び貯蔵品	118,016	98,566
その他	109,010	130,963
貸倒引当金	△20,575	△16,390
流動資産合計	2,087,391	1,948,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,890,472	1,767,491
土地	1,968,498	1,968,498
その他（純額）	235,506	133,247
有形固定資産合計	4,094,477	3,869,237
無形固定資産	7,436	6,942
投資その他の資産		
敷金及び保証金	809,338	718,362
その他	395,217	601,177
貸倒引当金	△37,693	△86,680
投資その他の資産合計	1,166,862	1,232,859
固定資産合計	5,268,776	5,109,039
資産合計	7,356,168	7,057,681
負債の部		
流動負債		
買掛金	401,394	428,618
短期借入金	1,700,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	522,060	538,524
未払法人税等	44,283	14,398
賞与引当金	58,075	52,527
その他	468,195	507,978
流動負債合計	3,194,007	3,042,046
固定負債		
長期借入金	968,518	1,098,588
退職給付引当金	58,465	59,288
役員退職慰労引当金	337,081	326,122
その他	169,987	132,731
固定負債合計	1,534,051	1,616,730
負債合計	4,728,059	4,658,776

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,679,274	1,469,576
自己株式	△284	△284
株主資本合計	2,670,312	2,460,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,154	△747
為替換算調整勘定	△57,137	△60,962
評価・換算差額等合計	△53,982	△61,709
少数株主持分	11,779	—
純資産合計	2,628,109	2,398,904
負債純資産合計	7,356,168	7,057,681

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	4,562,442	4,337,256
売上原価	2,191,185	1,825,014
売上総利益	2,371,256	2,512,242
販売費及び一般管理費	2,318,600	2,109,935
営業利益	52,656	402,306
営業外収益		
受取利息	2,251	849
受取配当金	318	388
為替差益	548	—
その他	944	965
営業外収益合計	4,063	2,203
営業外費用		
支払利息	22,603	19,197
その他	2,693	4,673
営業外費用合計	25,297	23,871
経常利益	31,422	380,638
特別利益		
負ののれん発生益	—	85,904
その他	—	16,844
特別利益合計	—	102,748
特別損失		
固定資産除却損	—	371
減損損失	119,537	—
貸倒引当金繰入額	56,696	—
その他	34,593	—
特別損失合計	210,828	371
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△179,405	483,015
法人税、住民税及び事業税	4,848	38,593
法人税等調整額	△60,505	145,642
法人税等合計	△55,657	184,236
少数株主損益調整前四半期純利益	—	298,779
少数株主損失(△)	—	△380
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,748	299,159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△179,405	483,015
減価償却費	128,704	99,020
減損損失	119,537	—
負ののれん発生益	—	△85,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67,147	△44,016
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,068	△2,452
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,812	△822
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,670	10,959
投資有価証券評価損益(△は益)	25,672	—
受取利息及び受取配当金	△2,569	△1,237
支払利息	22,603	19,197
売上債権の増減額(△は増加)	26,250	29,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,550	△14,877
仕入債務の増減額(△は減少)	27,062	△32,326
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,397	7,860
その他	△59,316	△28,917
小計	192,083	439,369
法人税等の支払額	△5,236	△9,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,846	429,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,875	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△56,979	△74,350
会員権の売却による収入	8,188	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,491
敷金及び保証金の回収による収入	53,472	99,013
利息及び配当金の受取額	4,025	1,600
その他の収入	9,747	—
その他の支出	△31,183	△42,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,604	△57,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△251,424	△299,324
配当金の支払額	△83,389	△89,179
利息の支払額	△22,807	△17,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,621	△206,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,358	264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,261	166,374
現金及び現金同等物の期首残高	772,503	752,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	822,765	919,295

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,246,844	2,224,516	91,081	4,562,442	—	4,562,442
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	974	974	(974)	—
計	2,246,844	2,224,516	92,056	4,563,417	(974)	4,562,442
営業利益又は営業損失(△)	542,639	△82,448	50,863	511,054	(458,398)	52,656

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

(単位：千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,433,839	1,820,777	82,639	4,337,256	—	4,337,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,154	1,154	(1,154)	—
計	2,433,839	1,820,777	83,794	4,338,411	(1,154)	4,337,256
営業利益又は営業損失(△)	837,668	△20,982	39,039	855,725	(453,419)	402,306

(注) 1 事業区分の方法

事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売
- (2) レストラン事業………スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。